

個性派企業の追求～社会貢献企業実現のために

昭和電工株式会社
2009年12月期 第2四半期決算説明資料
2009年7月31日

取締役 常務執行役員 CFO
野村 一郎

決算発表日 2009年7月30日

本資料は発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



■ 連結子会社 39社

■ 連結除外 △1社

- 昭和電工プラスチックプロダクツ(株) (清算、石油化学セグメント)

■ 持分法適用会社 18社

■ 持分法除外 △2社

- 三重化成(株) (売却、石油化学セグメント)
- TG昭和(株) (売却、化学品セグメント)

注. 増減は前期末対比

	2008年1-6月	2009年1-6月	増減
■ 為替レート (円/US\$)	104.9	95.5	9.4円高
■ 国産ナフサ (円/KL)	68,800	30,000	△38,800
■ アルミ LME (US\$/T)	2,887	1,456	△1,431

※08年12月31日期末レート91.0円

09年6月30日期末レート96.0円

⇒ 5.0円円安

連結業績の概要(1-6月 6ヶ月累計)



(億円)

	2008年1-6月	2009年1-6月	増減
売上高	5,108	2,867	△2,241
営業利益	246	△229	△475
営業外損益	△66	△115	△49
内、金融収支	△29	△27	2
内、持分法損益	2	△12	△14
内、為替差損益	△31	4	36
内、操短損失	0	△48	△48
経常利益	180	△343	△524
特別利益	43	19	△24
特別損失	△46	△164	△119
税金等調整前四半期純利益	178	△488	△667
法人税等	△57	23	80
少数株主損益	△3	△0	4
四半期純利益	117	△465	△583

特別損益の内訳



(億円)

	2008年1-6月	2009年1-6月	増減
■特別利益	43	19	△24
●投資有価証券売却益	18	15	△2
●固定資産売却益	7	0	△7
●その他	19	4	△15
■特別損失	△46	△164	△119
●固定資産除却損及び売却損	△24	△14	10
●期首たな卸資産評価損	—	△55 注1	△55
●減損損失	—	△84 注2	△84
●その他	△22	△11	11
■特別損益	△2	△145	△143

注1. Q1に計上済み

注2. 熱交換器事業、セラミックス事業に係る固定資産の減損

連結売上高差異内訳(1-6月 6ヶ月累計)



(億円)

	2008年 1-6月	2009年 1-6月	増減	項目
石油化学	2,047	962	△1,084	オレフィン:減収(エチレンプラント減産、価格低下) 有機:減収(酢酸のPTA向け外販撤退、1Q減産、 価格低下)
化学品	408	468	60	AN、クロロプレングム:減収(数量減) 昭和炭酸株:前年6月新規連結
電子・情報	1,011	430	△580	HD:減収(数量減) 化合物半導体:減収(数量減) 特殊ガス:減収(数量減) レアアース:減収(自動車業界生産調整)
無機	435	229	△206	セラミックス:減収(減産) 電極:減収(電炉鋼業界在庫調整)
アルミニウム 他	1,208	777	△431	アルミ地金:減収(外販圧縮) 圧延品:減収(コンデンサー用高純度箔減産) 押出・機能材:減収(数量減) 熱交換器、ショウティック:減収(自動車業界生産調整) アルミ缶:増収(数量増)
合計	5,108	2,867	△2,241	

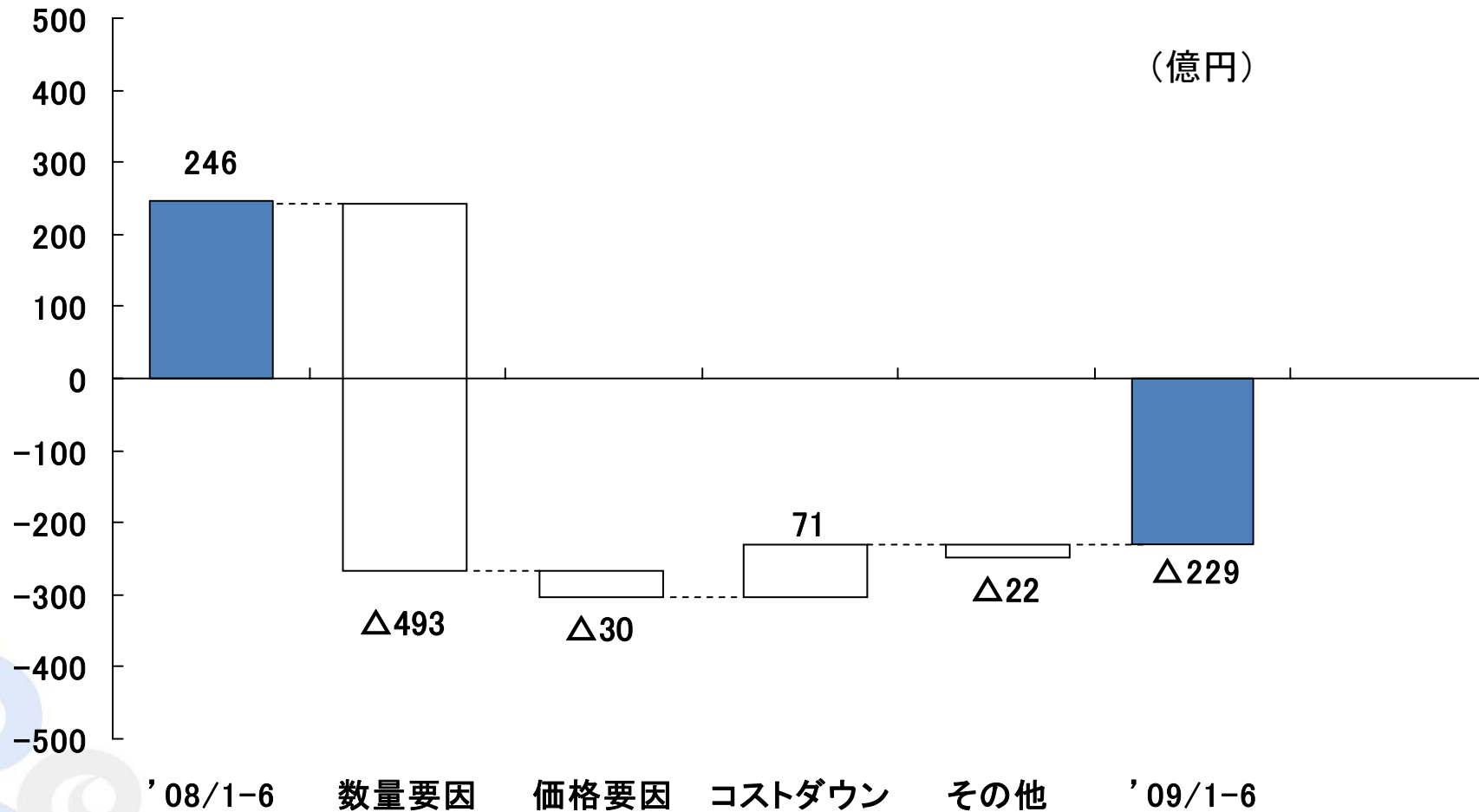
連結営業利益差異内訳(1-6月 6ヶ月累計)



(億円)

	2008年 1-6月	2009年 1-6月	増減	項目
石油化学	60	20	△40	オレフィン:減益(数量減) 有機:減益(数量減)
化学品	37	△11	△48	AN:減益(価格低下) クロロプレンゴム:減益(数量減) アミノ酸:増益(数量増)
電子・情報	75	△157	△232	HD:減益(数量減) 化合物半導体、特殊ガス、レアアース:減益(数量減)
無機	98	3	△95	セラミックス:減益(数量減) 電極:減益(日米共に数量減)
アルミニウム 他	7	△68	△75	圧延品:減益(コンデンサー用高純度箔が数量減) 押出・機能材:減益(数量減) ショウテック、熱交換器:減益(自動車業界生産調整) 卸電力事業:増益(燃料価格低下) アルミ缶:前年同期並み
共通・本部	△31	△16	14	
合計	246	△229	△475	

連結営業利益差異内訳 (1-6月 6ヶ月累計比較)



連結業績の概要(09年1Q,2Q対比)



(億円)

	2009年1-3月	2009年4-6月	増減
売上高	1,210	1,656	446
営業利益	△157	△72	85
営業外損益	△80	△35	45
内、金融収支	△16	△11	5
内、持分法損益	△14	2	16
内、為替差損益	7	△3	△10
内、操短損失	△35	△13	22
経常利益	△236	△107	129
特別利益	4	19	15
特別損失	△76	△91	△15
税金等調整前四半期純利益	△309	△180	129
法人税等	88	△65	△153
少数株主損益	0	0	0
四半期純利益	△221	△244	△24

連結売上高差異内訳(09年1Q,2Q対比)



(億円)

	2009年 1-3月	2009年 4-6月	増減	項目
石油化学	402	561	159	オレフィン、有機:増収(数量増)
化学品	198	270	72	AN、クロロプレンゴム、工業ガス:増収(数量増)
電子・情報	159	271	112	HD:増収(数量増) 化合物半導体、特殊ガス、レアアース:増収(数量増)
無機	105	124	20	セラミックス、電極:増収(数量増)
アルミニウム 他	347	430	83	アルミ地金:横ばい(外販圧縮) 圧延品:増収(コンデンサー用高純度箔数量増) 押出・機能材:減収(数量減) 熱交換器、ショウテック:増収(数量増) アルミ缶:増収(数量増)
合計	1,210	1,656	446	

連結営業利益差異内訳(09年1Q、2Q対比)



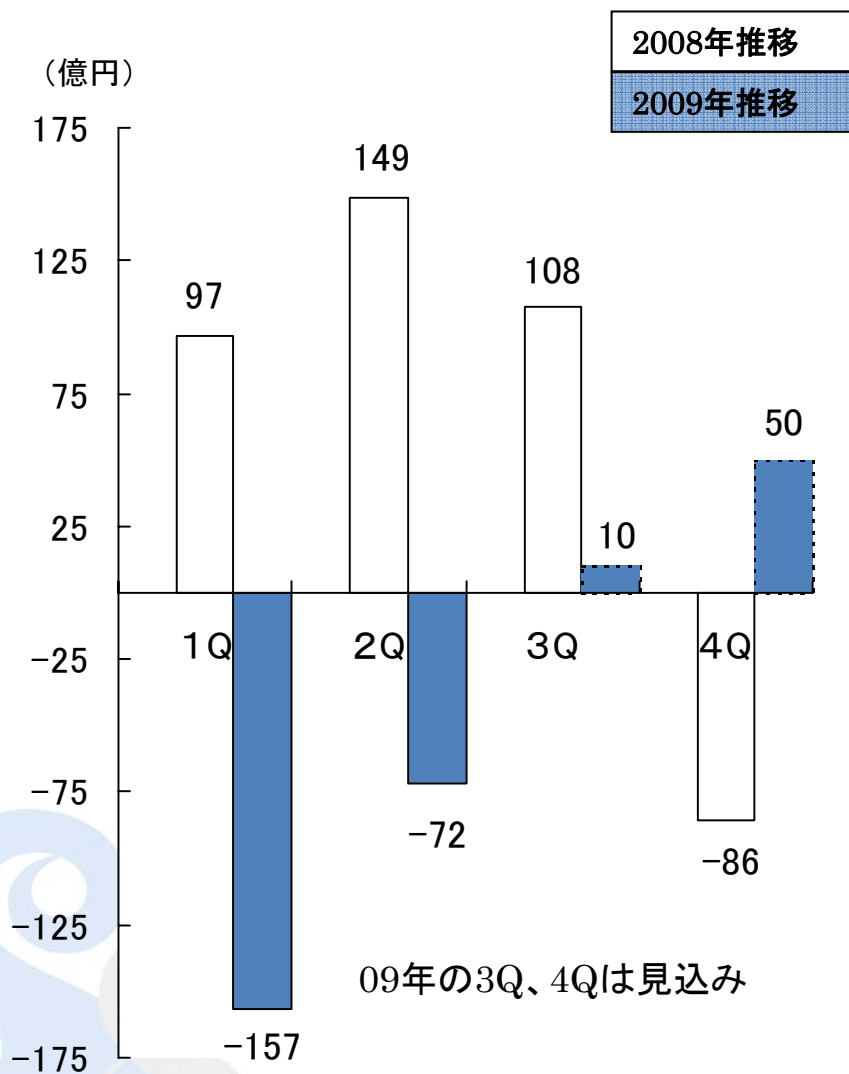
(億円)

	2009年 1-3月	2009年 4-6月	増減	項目
石油化学	△5	26	31	オレフィン、有機:増益(数量増)
化学品	△8	△3	6	AN、アンモニア:増益(数量増)
電子・情報	△93	△63	30	HD:増益(数量増) 化合物半導体、特殊ガス:増益(数量増) レアアース:減益(低価法)
無機	4	△1	△6	セラミックスを中心に減益
アルミニウム 他	△45	△23	22	圧延品:増益(コンデンサー用高純度箔数量大幅増) 押出・機能材:横ばい 熱交換器、ショウティック:増益(数量増) アルミ缶:増益(数量増)
共通・本部	△9	△7	3	
合計	△157	△72	85	

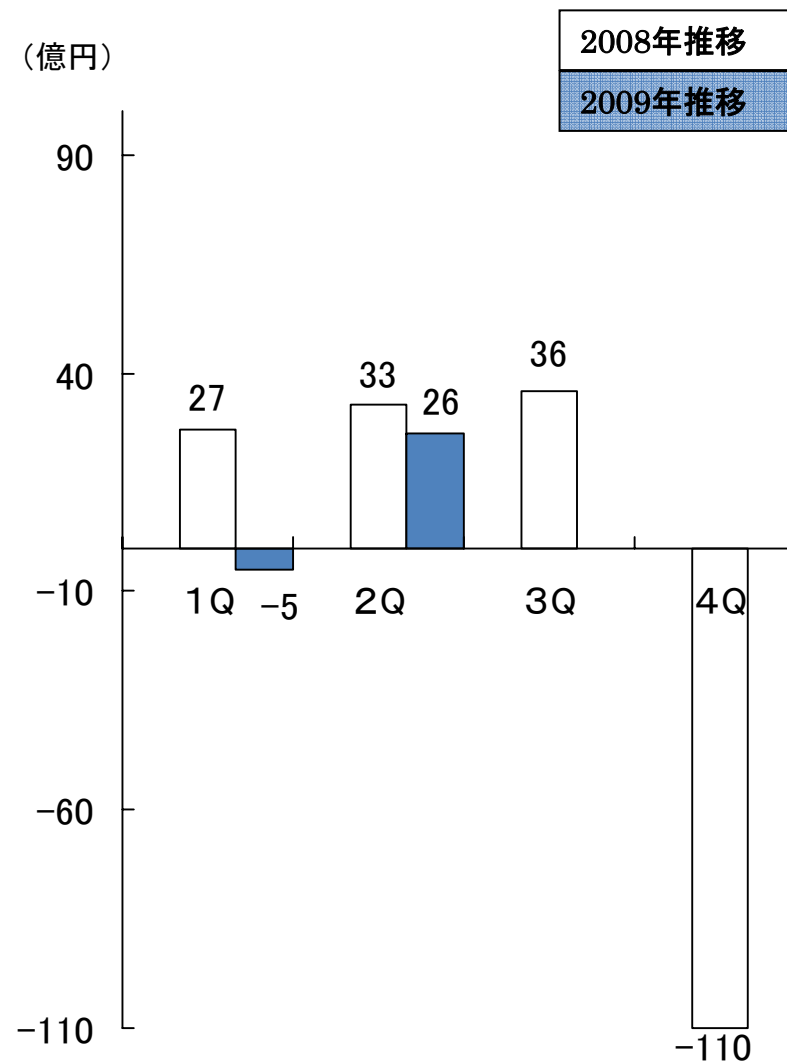
セグメント別連結営業利益推移



■全社



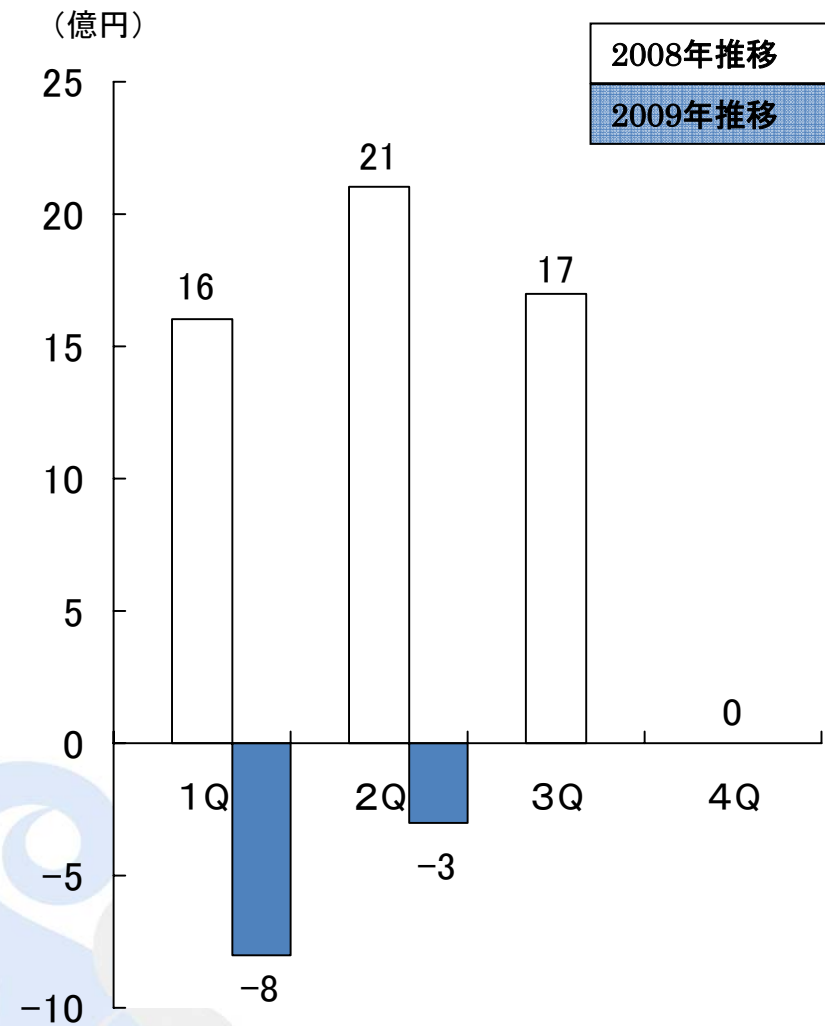
■石油化学セグメント



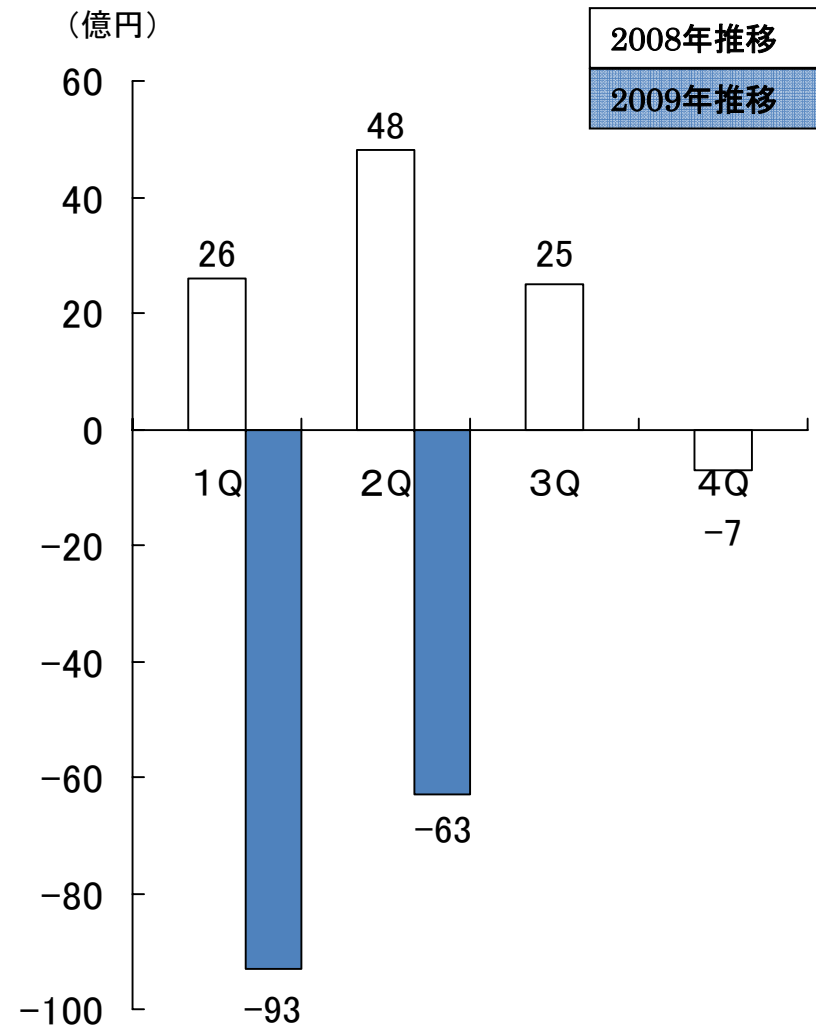
セグメント別連結営業利益推移



■ 化学品セグメント



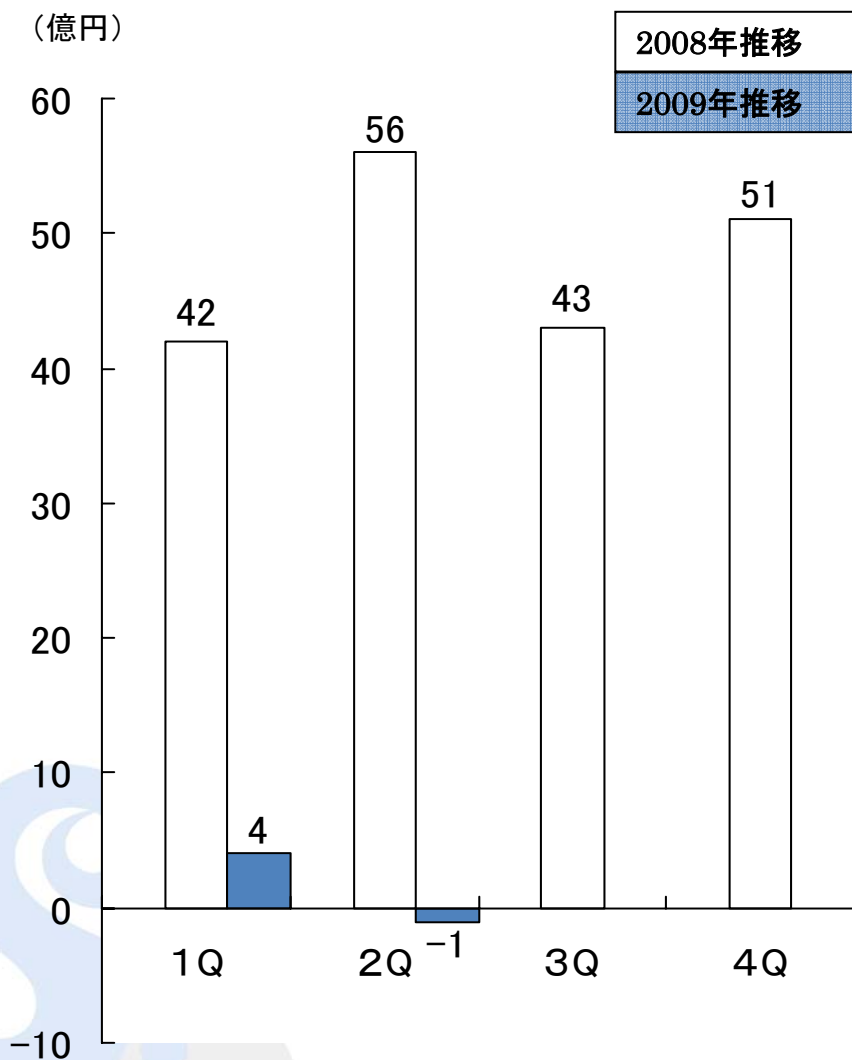
■ 電子・情報セグメント



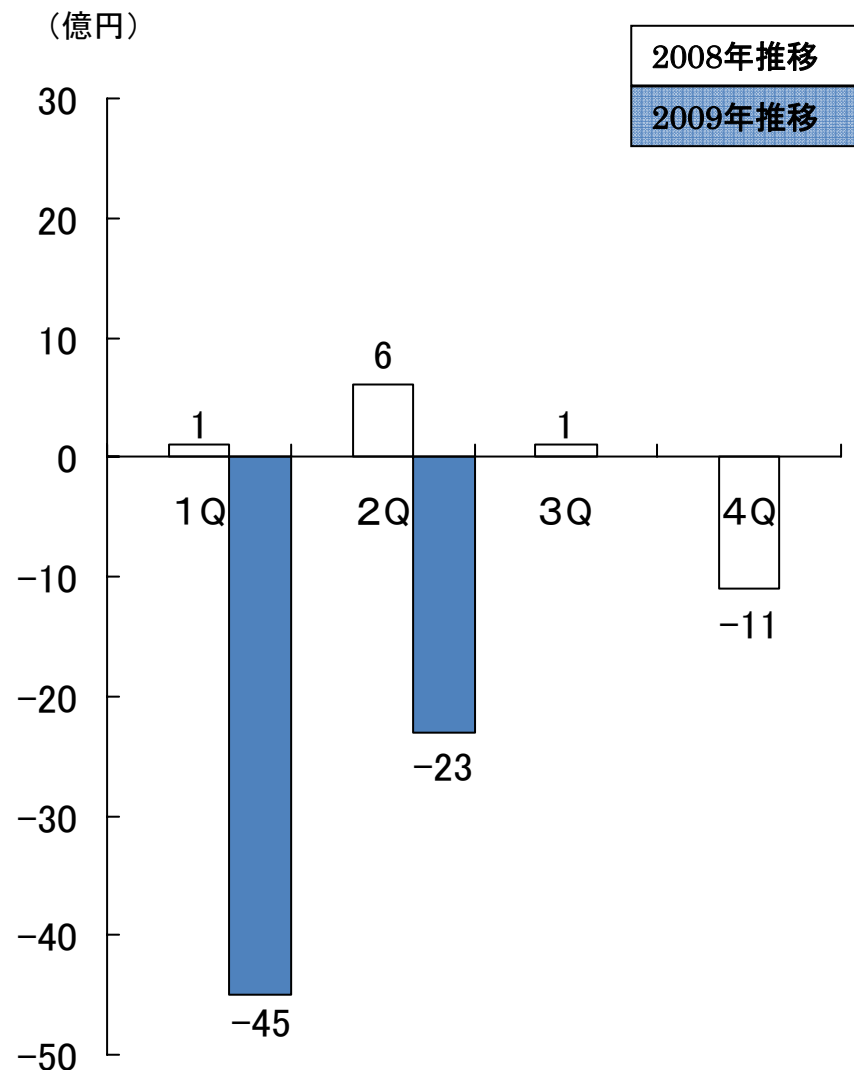
セグメント別連結営業利益推移



■無機セグメント



■アルミニウム他セグメント



連結貸借対照表



(億円)

資産	2008年 12月末	2009年 6月末	増減	負債・純資産	2008年 12月末	2009年 6月末	増減
現預金	410	434	25	営業債務	1,404	848	△557
営業債権	1,172	1,011	△161	有利子負債	3,929	4,322	393
たな卸資産	1,177	982	△196	再評価に係る繰延税金負債	460	460	△0
繰延税金資産	59	49	△10	退職給付引当金	287	276	△11
その他	399	290	△109	その他	886	989	103
流動資産計	3,217	2,765	△451	負債計	6,966	6,895	△71
建物・構築物	950	921	△29	資本金	1,219	1,219	—
機械装置・運搬具	1,525	1,430	△95	資本剰余金	379	379	—
土地	2,560	2,561	1	利益剰余金	731	206	△525
他有形固定資産	281	260	△20	自己株式	△2	△2	△0
有形固定資産計	5,316	5,173	△143	株主資本計	2,328	1,803	△525
無形固定資産	130	138	8	その他有価証券評価差額金	50	59	10
投資その他の資産	957	992	35	繰延ヘッジ損益・為替換算調整額	△191	△145	46
(内、投資有価証券)	656	683	27	土地再評価差額金	219	219	△0
(内、繰延税金資産)	176	166	△10	評価・換算差額等計	78	133	55
				少数株主持分	248	238	△11
固定資産計	6,404	6,303	△100	純資産計	2,655	2,174	△481
資産合計	9,620	9,069	△552	負債・純資産合計	9,620	9,069	△552

総資産・有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率

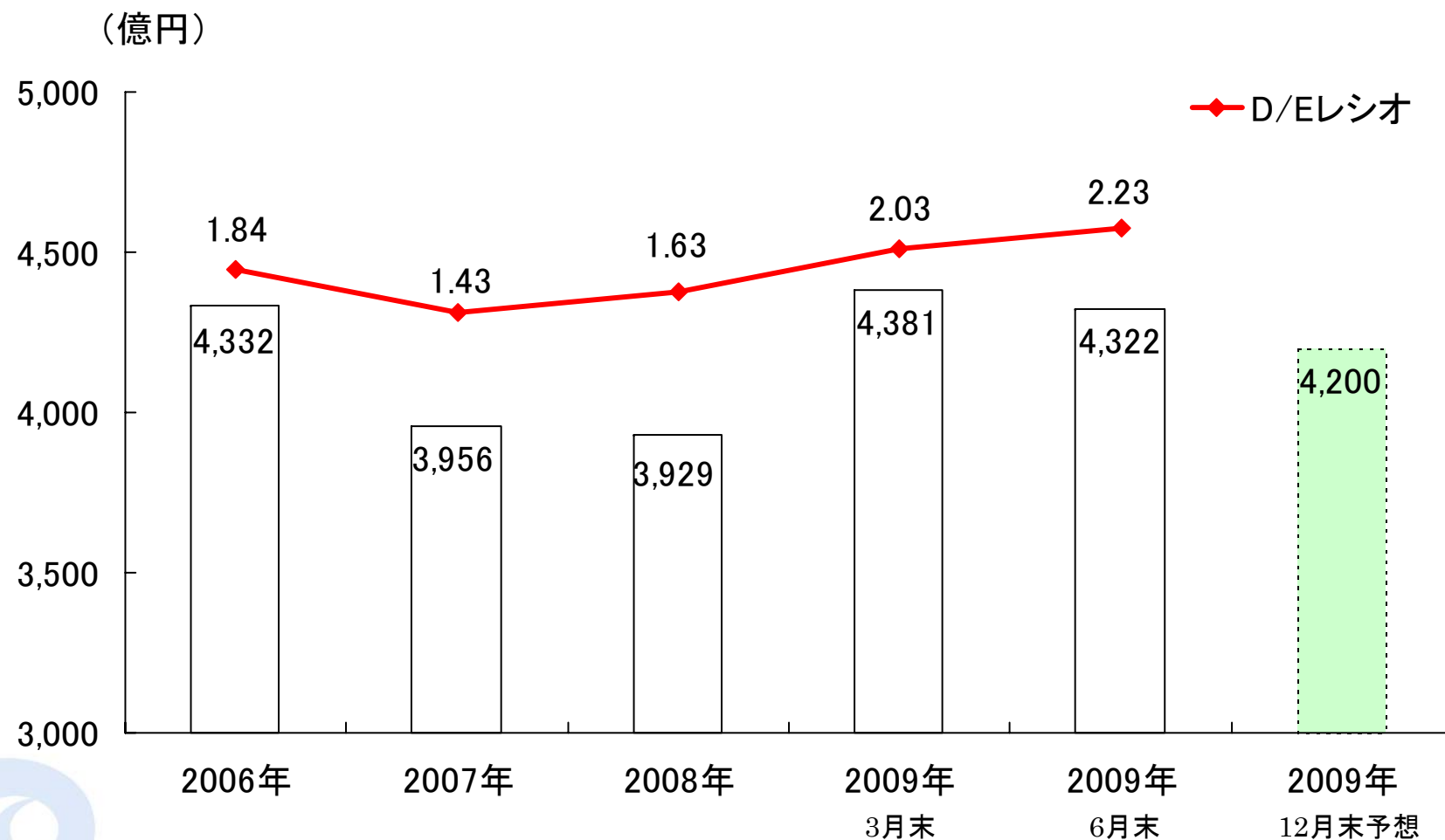


	2008年末	2009年6月末	増減
■ 総資産	9,620億円	9,069億円	△552億円
■ 有利子負債	3,929億円	4,322億円(注)	+393億円
■ D/Eレシオ	1.63倍	2.23倍	+0.6p
■ 自己資本比率	25.0%	21.4%	△3.6p

(注)有利子負債は09年3月末4,381億円比59億円減少



連結有利子負債の推移



(億円)

	2008年 1-6月	2009年 1-6月	増減
●営業CF	125	△176	△301
●投資CF	△244	△94	150
●フリー・キャッシュ・フロー	△119	△270 ^(注)	△151
●財務CF	17	279	261
●その他	1	14	13
現預金増減額	△100	23	123

(注) フリー・キャッシュ・フロー
09年 1Q △340 2Q+70

金融収支・設備投資・人員等(連結)



(億円)

	2008年 1-6月	2009年 1-6月	増減
●金融収支	△29	△27	2
●設備投資	259	203	△56
●減価償却費	293	279	△14
●研究開発費	93	105	12
●期末従業員(人)	11,893	11,226	△667
●総人件費	381	356	△26

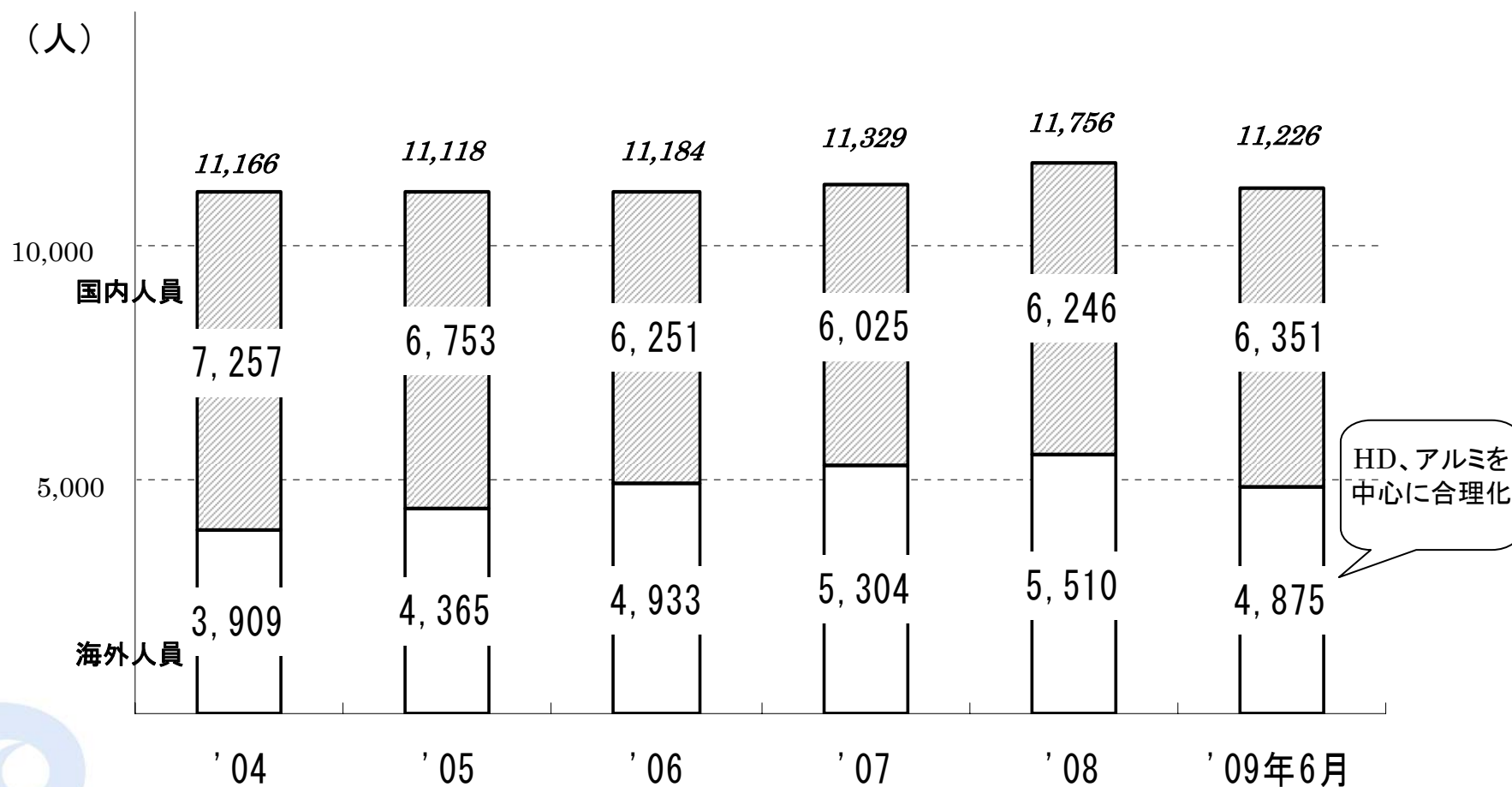
セグメント別設備投資・減価償却



(億円)

	2008年(1-6月)		2009年(1-6月)		増減	
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却
石油化学	45	33	28	36	△17	3
化学品	29	31	39	41	11	10
電子・情報	124	166	83	129	△41	△38
無機	13	15	20	21	7	6
アルミニウム他	49	48	32	53	△17	5
全社計	259	293	203	279	△56	△14

連結総人員の推移と国内海外人員割合



国内割合	65.0%	60.7%	55.9%	53.2%	53.1%	56.6%
海外割合	35.0%	39.3%	44.1%	46.8%	46.9%	43.4%

2009年通期業績予想



(億円)

	2009年予想 4月30日公表	2009年予想 7月30日公表	増減	2008年 実績
売上高	7,100	6,700	△400	10,039
営業利益	△65	△170	△105	268
経常利益	△235	△345	△110	98
当期純利益	△300	△465	△165	25
1株当たり 当期純利益	△24円04銭	△37円27銭	△13円23銭	1円96銭
1株当たり配当金	未定	未定	—	5円

セグメント別売上高予想(連結)

(億円)

	2009年予想 4月30日公表	2009年予想 7月30日公表	増減	2008年 実績
石油化学	2,280	2,350	70	4,002
化学品	970	960	△10	933
電子・情報	1,280	1,220	△60	1,888
無機	730	470	△260	888
アルミニウム他	1,840	1,700	△140	2,328
合計	7,100	6,700	△400	10,039

セグメント別営業利益予想(連結)



(億円)

	2009年予想 4月30日公表	2009年予想 7月30日公表	増減	2008年 実績
石油化学	55	65	10	△13
化学品	0	△5	△5	53
電子・情報	△115	△150	△35	93
無機	110	20	△90	192
アルミニウム他	△60	△65	△5	△2
共通・本部	△55	△35	20	△55
合計	△65	△170	△105	268

予想諸元



	2009/1-6	2009/7-12 (今回修正)	差異
●為替レート(円/US\$)	96	95	△1
●国産ナフサ(円/KL)	30,000	41,300	11,300
●アルミLME(US\$/T)	1,456	1,700	244

(億円)

	2008年	2009年予想	差異
●有利子負債	3,929	4,200	271
●金融収支	△63	△69	△6
●研究開発費	201	211	10
●期末従業員(人)	11,756	11,177	△579
●総人件費	763	729	△34

セグメント別設備投資・減価償却予想



(億円)

	2008年		2009年予想		増減	
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却
石油化学	81	67	43	70	△38	3
化学品	77	67	100	88	23	21
電子・情報	290	338	169	254	△120	△83
無機	42	35	35	34	△7	△1
アルミニウム 他	59	98	71	97	12	△0
全社計	548	604	418	544	△130	△60

■石油化学セグメント

- 高付加価値ポリプロピレンの能力増強を決定
 - ◆持分法適用会社であるサンアロマー(株)は、大分工場の一部設備の改善を行い高付加価値ポリプロピレンの製造を開始。併せて、同工場の設備能力を約6万トン増強し、省エネと設備管理の効率化によるコストダウンを実現する。竣工は平成22年上期を予定。

■電子・情報セグメント

- ハードディスク生産拠点 昭和電工HD山形株式会社の発足
 - ◆本年7月1日、富士通(株)よりハードディスク生産会社の全株式を譲り受け、昭和電工HD山形(株)を発足させた。これにより当社のハードディスク生産は、千葉、山形、台湾、シンガポールの世界4拠点体制へ。世界最大のハードディスク外販メーカーとして最先端の技術で市場の大容量化ニーズに対応する。山形の生産能力は月産300万枚。

■電子・情報セグメント

- 世界最大記録容量500ギガバイトの3.5インチハードディスクの量産を開始
 - ◆本年1月より、3.5インチサイズとしては世界最大(注)となる1枚当りの記録容量が500ギガバイトのハードディスクの量産を開始。大記録容量のハードディスクに対する需要は、デジタルハイビジョン放送をハイビジョンのまま録画できるHDDレコーダー向けや、動画の保存・編集を行うパソコン向けに拡大。

(注)世界最大:本年2月現在、当社推定

- 世界最高出力 植物育成用4元系赤色LED素子を開発
 - ◆植物育成に最適な波長光を発する4元系赤色LED素子の開発に成功し、サンプル販売を本年4月より開始。本製品は植物育成に最適な波長660nmの光を発する赤色LED素子として世界最高(注)の発光出力を達成。レタスなどの野菜を人工光で栽培する植物工場等への用途開発を推進。本年5月には、経済産業省の完全制御型植物工場モデル施設の光源として採用。

(注)世界最高:本年4月現在、当社推定

■電子・情報セグメント

- カーボンナノチューブ新グレード「VGCF®-X」の量産を決定
 - ◆樹脂複合材分野向けに最適の製品設計を行ったカーボンナノチューブ「VGCF®-X」の量産設備を大分コンビナート内に建設することを決定し、平成22年上期より年間400トンの生産を開始する予定。本製品を樹脂に少量添加することにより、クリーンルーム内で使用される搬送器具に高い導電性を安定的に付与し静電気の発生を抑止することから、半導体やハードディスクの品質向上に貢献。また、今回の量産の決定に際し、カーボンナノチューブの複合材分野において材料・用途などに関する多数の特許をもつ米国ハイペリオン社とクロスライセンス契約を締結。
- 電気自動車向けリチウムイオン電池用黒鉛負極材「SCMG®」の販売開始
 - ◆大型リチウムイオン電池向けの黒鉛負極材「SCMG®」の開発に成功し、国内外複数の電気自動車の大型リチウムイオン電池向けに販売開始。電気自動車は、省資源という特性から大きな需要が見込まれる。「SCMG®」をリチウムイオン電池の負極に用いることで、大電流の使用と電池に長寿命化が可能。約20億円の投資を行い、大町事業所の年間生産能力を現状の1,000トンから平成24年には3,000トンに引き上げる。

■電子・情報セグメント

- 半導体用次世代エッチングガスC4F6事業の拡大強化
 - ◆ 米国エアプロダクツ・アンド・ケミカルズ社と共同で、環境負荷の極めて小さい半導体向けエッチング用高純度ガスC4F6を川崎事業所において本年中に生産開始予定。C4F6は、既存のエッチング用ガスと比較して微細加工性や選択性に優れているため需要の拡大が見込まれる。

- 機能性高分子固体コンデンサー事業を譲渡
 - ◆ 本年6月に、機能性高分子固体コンデンサー事業を(株)村田製作所に譲渡することを決定し、本年末までを目処に譲渡を完了させる予定。

■無機セグメント

- NEDO技術開発機構プロジェクトによる光触媒の量産試作を開始
 - ◆ 連結子会社昭和タイタニウム(株)は、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO 技術開発機構)が開発した可視光型光触媒の量産化を開始。本製品は、従来は性能がなかった蛍光灯などの室内光においても、空気浄化、防汚、抗菌、抗ウィルス等の光触媒機能を発揮することが期待される。
- 人造黒鉛電極製造工程の燃料転換によりCO2排出を削減
 - ◆ 大町事業所の人造黒鉛電極焼成工程における重油から液化天然ガスへの燃料転換を完了。これによるCO2削減量は年間1万トン。今回の燃料転換にあたり、同事業所内に最大270キロリットルの貯蔵が可能となる長野県内最大級のLNG設備を新設。